

# 内容のわからない支払請求

(相談事例)

「電子消費者料金未納」というハガキが届き、ハガキに書かれたNPO法人の連絡先に電話したら、弁護士と名乗る人に「裁判のための供託金が必要」と言われたので、50万円を振り込んだ。その後また電話があり、「訴訟が難航しており、財産が差し押さえになると全財産を失うことになってしまふ。そうならないため、いったん手持ち金全額を預かるので振り込むように」と言われた。

(30歳代女性)

(お答えします)

債権回収業者や公的機関、またはNPO法人のように名乗り、「電子消費者料金未納請求」「総合消費料金未納分訴訟最終通告」などの通知をハガキで送りつけてくるケースが、県内で多発しています。ハガキの特徴は、主に次の3つです。(1)いつどのような債務が発生してなぜ請求されるのか明記されていない(2)訴訟番号や法律の名称、法律用語などが並び、不安を煽るような文章になっている(3)訴訟を起こしたので、取り下げたいなら至急連絡をするよう電話番号が明記されている(または「書か



れている期限までに連絡しなければ訴訟になる」などと明記されている。

このようなハガキは、不安に思っただ消費者から連絡を受けることを狙って、手当たり次第に出されているものなので、その請求内容について身に覚えがないのなら、連絡する必要はありません。自分から連絡をしないことが最大の防御となります。「身に覚えがない場合は連絡を」と書かれてあるので電話をしてみましょう。言葉巧みに名前や住所、電話番号等の個人情報聞き出し、訴訟を取り下げたければお金を振り込むよう脅かしてきます。

なお、本物の訴訟通知(「支払督促」「少額訴訟の呼出状」など)は、裁判所から「特別送達」という特別な郵便により送付され、原則として郵便配達人が直接名宛人に手渡すことになっており、事例のようにハガキで郵便受けに投げ込まれるということはありません。

何か不明な点や心配なことがありましたら、市の消費生活相談窓口までご相談下さい。

問い合わせ / くらし支援課生活交通担当 (内線2474・2476)

## あなたの身近にも犯罪が

2月上旬～2月下旬までの被害情報  
問い合わせ / やさしさ支援課人権支援担当(内線2282)

分類	発生場所	内容
自動車盗難(2件)	北新宿、下忍	・自宅脇で、普通乗用車が盗まれる。 ・月極駐車場で、軽自動車が盗まれる。
車上ねらい(2件)	小松1丁目	・駐車場で、車の窓ガラスを破られカーナビゲーション等が盗まれる。
ひったくり(1件)	本町1丁目	・地内の駐車場で、帰宅途中の男性が、後ろから歩いてきた男に現金入りのバッグをひったくられる。
空き巣(6件)	赤見台3丁目、稲荷町、天神一丁目、北根、赤城	・家人が留守中に無締まりの窓から何者かが入り込み現金等が盗まれる。 ・家人が留守中に窓ガラスが破られる等して何者かが入り込み現金等が盗まれる。
忍び込み(5件)	氷川町、松原4丁目、宮前、赤見台4丁目	・家人が就寝中に勝手口のドアが壊され何者かが入り込み現金等が盗まれる。 ・家人が就寝中に無締まりの窓から何者かが入り込み現金が盗まれる。
居空き(1件)	関新田	・地内の店舗兼住宅で、家人が店舗で仕事中心何者かが室内に入り込み現金が盗まれる。
痴漢(1件)	大間2丁目	・道路上で、帰宅途中の女性が後ろから来た男に体を触られる。
女性の下着を狙った強盗(2件)	大間4丁目、氷川町	・帰宅途中の女性が下着を奪い取られる。
工事場ねらい(1件)	中井	・工事場で、銅線が盗まれる。
事務所荒し(1件)	糠田	・事務所で、無締まり出入口から何者かが入り込み現金が盗まれる。
振り込め詐欺(1件)		・女性宅に息子と名乗る男から「会社で穴を開けてしまった」等と電話があり、現金200万円を騙し取られる。
ATM(現金自動支払機)破り(1件)	箕田	・スーパー店舗内で、設置してあったATM機が破壊され現金が盗まれる。



## フッ素の効果 一生自分の歯で食べるために

フッ素は、塩素やヨウ素などと同じハロゲン元素の一つです。土や水、草や木などの植物、色々な動物

のことも、私たち人間の体にも例外なくフッ素は含まれています。フッ素は私たちの身近に存在するものなのです。そのフッ素には虫歯の予防効果があるといわれています。虫歯は、酸などによる歯からミネラルを溶かしだす力（脱灰といいますが、歯にミネラルを補給して結晶する力（再石灰化といいますが）よりも強くなるほど発生しやすくなります。

フッ素を歯に作用させると歯の表面から取り込まれて、脱灰された部分を再石灰化させて歯を元通りにするのを助けます。つまりフッ素は歯の表面を強くする働きがあると考えられています。また、フッ素による虫歯予防は、乳歯や生えたばかりのやわらかい永久歯に特に効果的です。フッ素の塗布は専門家である歯科医師や衛

生士が行いますが、子どもの頃は次々と新しい永久歯が生えてくるので、定期的に年に3〜4回塗るのが適当です。大人の知覚過敏にも効くという報告もありますし、加齢とともに唾液量が少なくなり虫歯になりやすくなるため、一生フッ素を有効に利用してもらいたいものです。最近では、家庭でも利用できるフッ素入りペーストやうがい薬もたくさん発売されています。

フッ素というと安全かどうか気にする人もいますが、指示された量を守り、歯科医師の指導のもとに正しく使用すれば虫歯予防に大変効果があり、世界中の学者や専門家により安全性も確認されています。

虫歯予防にはブラッシングが最も一般的でかつ有効な方法ですが、さらにフッ素を日常に取り入れて歯を強くし、一生自分の歯で食べられるよう心がけてみましょう。（北足立歯科医師会）



生活満足度向上を目指して「あなたがまちの主役です」

## 『市長への手紙・メール』の中から

23

お寄せいただいたご意見を紹介します。

問い合わせ / 広聴広報課広聴担当(内線2013)

(Aさんからのメール)

日本一のひな壇で有名になった「鴻巣」に、名物と言われるようなお菓子を作ってください。

(市長からの回答)

インパクトのある鴻巣のお菓子を、というご提案は大変貴重なものです。

近年のお菓子に関する取り組みでは、市民の皆さんからレシピを募り農産物を活用した料理コンテストから生まれた『ぶどう大福』や、ひな人形をモチーフとして鴻巣市商工会が開発した『こうのす人形焼』等がございます。また、それぞれの菓子店でも新たな名産品の開発に向けての創意工夫が続けられています。

名産品は、消費者、食材の生産者、加工業者の皆さんの意見を幅広く聞き時間をかけて育て、市民の皆さんがそれに親しみを持つと共に日常的に消費できるものがふさわしいと考えています。その結果、鴻巣と言えば「これだ」という名産品が生まれ、それが県内外に広まり、将来、同じ食を特産品、名産品とする自治体との交流が実現することとなれば、更なる鴻巣市の発展につながると考えます。（担当：商工課）



「こうのす人形焼」



「ぶどう大福」

